

種子島からの標本に基づくアオバスズメダイの記録

岩坪洗樹¹・本村浩之²¹ 〒 892-0847 鹿児島市西千石町 11-21 鹿児島 MS ビル 鹿児島水圏生物博物館² 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

■ はじめに

スズメダイ科スズメダイ属魚類 (Pomacentridae: *Chromis*) は、日本国内から 33 種が報告されている (西山ほか, 2012; 青沼ほか, 2013; Iwatsubo and Motomura, 2013; 岩坪・本村, 2016). そのうち成魚と幼魚ともに、体全体がほぼ一様に淡い青色または緑色を呈するスズメダイ属魚類は、アオバスズメダイ *Chromis atripectoralis* Welander and Schultz, 1951 とデバスズメダイ *C. viridis* (Cuvier, 1830) が知られている (加藤, 2011).

2016 年 8 月 15 日に鹿児島県熊毛郡南種子町竹崎漁港南方から、1 個体のアオバスズメダイが得られた。アオバスズメダイの日本国内からの記録は、水中写真に基づくものが多く (荒賀, 2009; 加藤, 2011; Motomura and Harazaki, 2017 など)、奄美群島以南のみ標本や標本写真に基づく記録がある (Yoshino and Nishijima, 1981; 井田, 1985). 種子島から得られた標本は、アオバスズメダイの同島からの初記録であると同時に、奄美群島より北方の海域における標本に基づく確かな記録となる。したがって、分布情報の蓄積のためにも、ここに記載し報告する。

Iwatsubo, H. and H. Motomura. 2017. A record of *Chromis atripectoralis* (Perciformes: Pomacentridae), from Tanegashima island, Osumi Islands, Kagoshima, Japan. Nature of Kagoshima 43: 185-188.

✉ HI: Kagoshima Museum of Aquatic Biodiversity, Kagoshima MS Building, 11-21 Nishisengoku, Kagoshima 892-0847, Japan (e-mail: k8878027@kadai.jp).

■ 材料と方法

計数・計測方法は Hubbs and Lagler (1947) にしたがった。標準体長は体長と表記した。計測はデジタルノギスを用いて 0.1 mm 単位で行い、計測値は体長に対する百分率で示した。対鰭鰭条数は左体側のものを計数した。生鮮時のアオバスズメダイの体色は、KAUM-I. 200444 のカラー写真に基づいて記載した。標本の作製、登録、撮影、および固定方法は本村 (2009) に準拠した。本報告に用いた標本は鹿児島大学総合研究博物館 (KAUM) に保管されており、その標本のカラー写真は同館と鹿児島水圏生物博物館のデータベースに登録されている。

■ 結果と考察

Chromis atripectoralis Welander and Schultz, 1951
アオバスズメダイ (Fig. 1)

標本 KAUM-I. 200444, 体長 19.6 mm, 鹿児島県熊毛郡南種子町竹崎漁港南方 (30°22'09"N, 130°57'34"E), 水深 2 m, 2016 年 8 月 15 日, たも網, 岩坪洗樹・岩坪政光・岩坪未矩。

記載 背鰭条数 XII, 10; 臀鰭条数 II, 10, 胸鰭条数 19, 腹鰭条数 I, 5, 側線有孔鱗数 14 + 12. 体各部の体長に対する割合 (%) は以下の通り: 最大体高 44.9; 最大体幅 13.3; 頭長 33.2; 吻長 5.6; 眼径 13.3; 両眼間隔 13.3; 尾柄高 13.3; 尾柄長 15.8; 上顎長 13.8; 背鰭前長 42.3; 臀鰭前長 67.9; 背鰭基底長 44.9; 臀鰭基底長 16.3; 胸鰭長 28.6; 腹鰭棘長 13.8; 腹鰭軟条長 19.9; 背鰭第 1 棘長 10.2; 背鰭第 2 棘長 12.8; 背鰭第 3 棘長



Fig. 1. Photograph of fresh specimen of *Chromis tripteoralis* from Takesaki Fishing Port, Minamitane, Tanegashima island, Osumi Islands, Kagoshima, southern Japan (KAUM-I. 200444, 19.6 mm SL).

13.8；背鰭第5棘長12.8；背鰭第7棘長10.7；背鰭最長軟条長18.4；臀鰭第1棘長3.6；臀鰭第2棘長9.7；臀鰭最長軟条長14.3；尾鰭長24.5。体は体側面からみて卵円形でよく側扁する。吻は短く、瞳孔径とほぼ同長。体高は背鰭基部で最大。眼隔域はやや突出する。前鼻孔は正円形で吻端と眼窩前縁の中間に位置する。後鼻孔は前鼻孔よりやや小さい正円形で、前鼻孔の斜め下後方に位置する。口は端位で、口裂は斜行する。歯は円錐歯。主上顎骨後端は眼窩前縁を越えるが、瞳孔前縁に達しない。下顎は上顎よりわずかに前方に突出する。眼下骨、前鰓蓋骨縁、主鰓蓋骨、間鰓蓋骨、および下鰓蓋骨の縁辺は円滑である。眼窩内側に突起はなく、円滑である。体部はすべて櫛鱗。体側に側線が2列ある。上方側線有孔鱗列は不完全で、鰓蓋上端直後から始まり、背鰭第2軟条直下で終わる。下方側線有孔鱗列は背鰭第3軟条直下付近から始まり、下尾骨後端まで伸びる。背鰭棘部の鱗膜はわずかに切れ込む。背鰭・臀鰭軟条部後端は丸い。背鰭軟条長は第3軟条が最長。臀鰭軟条長は第5軟条が最長。腹鰭第1軟条は糸状に

伸長する。尾鰭は二叉し、両葉先端が尖る。前尾鰭条は棘状で、上下各3本ある。

色彩 鮮時の体色 (Fig. 1)：頭部から体側面にかけて淡い青色で、背側は濃く腹側に向かって白色になる。眼前縁から吻端にかけて1本の明瞭な水色線が延びる。虹彩は青色を帯びた灰色で、上縁が水色、内縁が黄色でそれぞれ縁取られる。背鰭、臀鰭、および腹鰭の鱗膜は半透明で青色を帯びるが、背鰭棘部の縁辺は薄い青色で縁取られる。腹鰭の第1軟条は水色を呈する。胸鰭は透明。胸鰭腋部に上下方向に長い長楕円形の1黒色斑がある。その黒色斑の上縁は、水色で縁取られる。尾鰭は透明で、基底から両葉先端にかけてそれぞれ1本ずつ水色帯が延びる。

分布 アオバスズメダイはインド・太平洋（セイシェル諸島・ロドリゲス島からピトケアン諸島までとハワイ諸島を除く）に広く分布する (Allen, 1991；青沼ほか, 2013)。日本国内からは伊豆諸島八丈島 (加藤, 2011)、高知県柏島 (平田ほか, 1996)、鹿児島県屋久島 (Motomura and Harazaki, 2017)、種子島 (本研究)、沖縄島 (荒賀, 2009)、

瀬底島 (Yoshino and Nishijima, 1981), 慶良間諸島 (荒賀, 2009), および西表島 (荒賀, 2009) から記録されている。

備考 本標本は眼下骨, 主鰓蓋骨, 間鰓蓋骨, および下鰓蓋骨の縁辺に棘がなく円滑であること, 眼窩内側に突起がなく円滑であること, 体側面は一様に淡い青色を呈すること, 眼上部から後頭部にかけての各鱗に付属小鱗がないこと, 背鰭棘が 12 本であること, 臀鰭軟条が 10 本であること, 胸鰭軟条が 19 本であること, 前尾鰭条が棘状で, 上下各 3 本あること, 尾鰭両葉に水色帯があること, 胸鰭腹部に黒斑があることなどの標徴を有し, Allen (1991) や青沼ほか (2013) が示したアオバスズメダイ *Chromis atripectoralis* の標徴とよく一致した。

Yoshino and Nishijima (1981) は *C. atripectoralis* を標本に基づき瀬底島から報告した。井田(1985) はアオバスズメダイの標本写真 (pl. 185-1) を示し, 奄美大島以南に分布すると報告した。それと同時に, アオバスズメダイは日本国内では長らくデバスズメダイ *Chromis viridis* (Cuvier, 1830) と混同されてきたと述べた。その後のアオバスズメダイの日本国内からの記録は, 加藤 (2011) が伊豆諸島八丈島, 平田ほか (1996) が高知県柏島, Motomura and Harazaki (2017) が鹿児島県屋久島, 荒賀 (2009) が沖縄島, 慶良間諸島, および西表島からそれぞれ水中写真に基づき報告した。前述のように, アオバスズメダイは水中写真に基づく国内からの記録が大半であり, 本報告は奄美諸島より北方の海域における標本に基づく確かな記録となる。また, アオバスズメダイの種子島からの標本に基づく初記録である。

アオバスズメダイは枝状サンゴのまわりに群生し, 危険を感じると一斉に枝の隙間に隠れることが知られている (荒賀, 2009; 加藤, 2011)。また, サンゴへの依存度も高い (加藤, 2011)。しかし, 本報告で得られた個体は, 生時に直径 1 m ほどの幅広い枝状サンゴ上に単独で遊泳しており, 周辺にも他個体がみられなかった。したがって, 同所では偶発的に出現した可能性が高いと考えられる。

■ 謝辞

本報告を取りまとめるにあたり, 岩坪政光氏 (鹿児島市), 岩坪哲郎氏 (南種子町), 岩坪美沙子氏 (南種子町), 岩坪麻美氏 (南種子町), ならびに岩坪未矩氏 (東京大学) には採集にご協力いただいた。鹿児島大学魚類分類学研究室の皆さまには適切な助言を頂いた。鹿児島大学総合研究博物館ボランティアの皆さまには標本整理などのご協力をいただいた。以上の諸氏に対して深く感謝の意を表す。なお本研究は, 鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」と鹿児島水圏生物博物館の「鹿児島の魚図鑑プロジェクト」の一環として行われた。本研究の一部は JSPS 科 研 費 (19770067, 23580259, 24370041, 26241027, 26450265), JSPS 研究拠点形成事業-B アジア・アフリカ学術基盤形成型, 国立科学博物館「日本の生物多様性ホットスポットの構造に関する研究プロジェクト」, 文部科学省特別経費「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点整備」, および鹿児島大学重点領域研究環境 (生物多様性プロジェクト) 学長裁量経費「奄美群島における生態系保全研究の推進」の援助を受けた。

■ 引用文献

- Allen, G. R. 1991. Damsel fishes of the world. Mergus Publishers, Melle, 271 pp.
- 青沼佳方・吉野哲夫・柳下直己. 2013. スズメダイ科. Pp. 1029-1066, 2033. 中坊徹次 (編). 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 秦野.
- 荒賀忠一. 2009. スズメダイ科. Pp. 434-463. 岡村 取・尼岡邦夫 (編・監). 日本の海水魚 第3版. 山と溪谷社, 東京.
- 平田智法・山川 武・岩田明久・真鍋三郎・平松 亘・大西信弘. 1996. 高知県柏島の魚類相 行動と生態に関する記述を中心として. 高知大学海洋生物教育研究センター研究報告, (16): 1-177.
- Hubbs, C. L. and Lagler, K. F. 1947. Fishes of the Great Lakes region. Cranbrook Institute of Science Bulletin (26): i-xi + 1-186.
- 井田 齊. 1985. アオバスズメダイ (デバスズメダイモドキ). P. 187. 益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫 (編), 日本産魚類大図鑑 初版. 東海大学出版会, 東京.

- Iwatsubo, H. and Motomura H. 2013. Redescriptions of *Chromis notata* (Temminck and Schlegel, 1843) and *C. kennensis* Whitley, 1964 with description of a new species of *Chromis* (Perciformes: Pomacentridae). *Species Diversity*, 18: 175–182.
- 岩坪洗樹・本村浩之. 2016. スズメダイ科魚類 *Chromis analis* タンボボスズメダイ (新称) と *C. xouthos* ヒマワリスズメダイの日本における記録と標準和名. *タクサ*, 41: 40–45.
- 加藤昌一. 2011. ネイチャーウォッチングガイドブック スズメダイ～ひと目で特徴がわかる図解付き～. 239 pp. 誠文堂新光社, 東京.
- 本村浩之. 2009. 魚類標本の作製と管理マニュアル. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 70 pp. (<http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/dl.html>)
- Motomura, H. and Harazaki, S. 2017. Annotated checklist of marine and freshwater fishes of Yakushima island in the Osumi Islands, Kagoshima, southern Japan, with 129 new records. *Bulletin of the Kagoshima University Museum*, 9: 1–183.
- 西山 肇・出羽慎一・千葉 悟・本村浩之. 2012. 鹿児島県硫黄島から採集された日本初記録のスズメダイ科魚類ヒスイスズメダイ (新称) *Chromis earina*. *魚類学雑誌*, 59: 61–67.
- Yoshino, T. and Nishijima, S. 1981. A list of fishes found around Sesoko Island, Okinawa. *Sesoko Marine Science Laboratory Technical Report*, (8): 19–87.